

調査実施の概要

1. 調査の目的

本調査は、50代や60歳以上の方の働き方や生活実態、ライフスタイルの現状がどのようになっているのかを確認するとともに、高齢者の働く職場における課題などを検証することで、今後増加していくと思われる60歳を超えて働く人が“いきいきと働ける職場・仕事”の条件、“いきいき生活していける”条件がどのようなものであるかを見出すことを目的として実施した。

2. 参加組合

参加組合は、電機連合、基幹労連、J P 労組、N T T 労組、東京電力労組、読売4単組、自治労、全印刷局労働組合である。

3. 調査の対象・方法・実施時期

調査対象は、定年後も働き続けている労働者とこれから定年を迎える50代の労働者とした。具体的な調査対象者の選定は調査参加産別・組合に一任した。なお、個人データ確認のため、各組織に対する組織調査も合わせて実施した。調査方法はアンケート調査票への自記入式で行い、実施時期は2010年1月～2010年6月である。

4. 共同調査用データの作成と分析について

ここで使用している共同調査データは、各産別・組合の回収状況などを勘案し、電機連合、基幹労連、J P 労組、N T T 労組、自治労、全印刷局労働組合については、定年前：400、定年後：250を基準として、投入できる分だけ投入した。また、定年前調査のみであった東京電力労組と読売4単組については、定年前：100を基準として投入した。定年の基準は、本人の回答をもとに、必要な組織においては修正を加えている。分析においては、定年を迎えていない人について「定年前・就労者」、定年を迎えている人について「定年後・就労者」として、データは別々に扱うこととする。なお、本号では「定年後・就労者」の結果（Ⅰ）を報告し、次号で「定年前・就労者」の結果（Ⅱ）を報告する。さらにその後より詳細な検討を加え、労調協としての提言を含めたとりまとめを予定している。

共同調査用データのサンプリング

	定年前	定年後
電機連合	400	188
基幹労連	400	250
J P 労組	400	140
N T T 労組	400	250
東京電力労組	100	-
読売4単組	100	-
自治労	194	250
全印刷局労働組合	400	241
共同調査データ	2394	1319

5. 調査の運営

本調査の実施に際しては、労調協企画委員会を開催し、調査票の検討などを行なった。労調協企画委員会の構成メンバーは次の通りである。

山根 晴久（連合 総合企画局企画局長・秘書室長 09年10月迄）	井出 久章（本会 専務理事）
加来 栄一（連合 総合企画局企画局長 09年11月から）	小倉 義和（本会 事務局長）
矢木 孝幸（電機連合 総合研究企画室事務局長 10年7月迄）	加藤 健志（本会 事務局次長）
斉藤 千秋（電機連合 総合研究企画室事務局長 10年8月から）	滝口 哲史（本会 主幹調査研究員）
春木 幸裕（情報労連 N T T 労組企画組織部長）	西村 博史（本会 主幹調査研究員）
伊藤 彰英（基幹労連 中央執行委員）	湯浅 論（本会 主任調査研究員）
長塚 義治（J P 労組 書記次長）	
菅家 功（自治労 企画局長 09年8月迄）	
植山 論（自治労 総合企画総務局長 09年9月から）	

2010年3月

定年後の雇用者の仕事と生活における諸問題と今後の取り組み課題

一定年後の仕事と生活に関する調査一

労働調査協議会

【おねがい】

本調査は、50代や60歳以上の方の働き方や生活基盤、ライフスタイルの現状がどのようなになっているのかを確認するとともに、高齢者の働く職場における課題などを検証することで、今後増加していくと思われる60歳を超えて働く人が「いきいきと働ける職場・仕事」の条件がどのようなものであるかを見出すことを目的として実施するものです。

【記入上の注意】

○回答は、□内にあてはまる番号を記入するが、もしくはあてはまる番号に○をつけて下さい。また、とくに断りのないものは1つだけ選んで下さい。

○記入済みの調査票は、返信用封筒に入れて担当者にお渡し下さい。

【基本項目】

F1 性別

1. 男性 ☐ (1) 2. 女性 ☐ (2)

F2 年齢（3月時点）

満 歳 (3-9)

F3 (F2で60歳以上の方に) 定年退職について

1. 定年退職を迎えた ☐ (4) 2. 定年退職は迎えていない

F4 勤続年数（3月時点、60歳以上の方は通算の勤続年数）

満 年 (5-6)

F5 学歴

1. 中卒 ☐ (7) 3. 短大・高専・専門学校卒
2. 高卒 ☐ 4. 大卒・大学院修了

F6 既未婚

1. 既婚（配偶者あり） ☐ (8) 2. 既婚（離別別） 3. 未婚

F7 組合への加入状況

1. 加入している・現在、組合役員 ☐ (9) 3. 加入していない
2. 加入している・現在、組合役員ではない

F8 あなたの居住地の郵便番号（上位3桁）

- - (10-12)

【職場生活の現状と今後の希望】

Q1 あなたのA：現在の職場、B：最も経験年数が長い職場は、主に以下のどれにあてはまりますか。以下のの中から、あてはまるものを1つずつ選んで下さい。

- | | | |
|-------------------------|---------------|----------------------------------|
| 1. 技能・製造（運転手を含む） | 7. 営業 | <input type="checkbox"/> (13-14) |
| 2. 技能・開発部門（保守・生産・品質管理等） | 8. 販売 | <input type="checkbox"/> (15-16) |
| 3. 技能・その他 | 9. サービス | |
| 4. 技術・研究・開発 | 10. プログラマー・SE | |
| 5. 企画（教諭を含む） | 11. その他専門職 | |
| 6. 事務 | 12. その他 | |
- A：現在担当している職種
B：最も経験年数が長い職種

Q2 あなたのA：現在の役割、B：これまでの最高位の役割は、以下のどれにあてはまりますか。

- | | | |
|------------|--------------|-------------------------------|
| 1. 一般 | 4. 課長クラス相当以上 | <input type="checkbox"/> (17) |
| 2. 監督クラス相当 | 5. その他 | <input type="checkbox"/> (18) |
| 3. 係長クラス相当 | | |
- A：現在の役割
B：これまでの最高位の役割

Q3 あなたの現在の勤務形態は何ですか。

- | | | |
|---------------|------------|-------------------------------|
| 1. 常駐・定時勤務 | 6. 事業場外みなし | <input type="checkbox"/> (19) |
| 2. 常駐・フレックス勤務 | 7. 短時間勤務 | |
| 3. 交替勤務・夜勤あり | 8. 短日勤務 | |
| 4. 交替勤務・夜勤なし | 9. その他 | |
| 5. 裁量労働制 | | |

Q4 あなたは、これまでどのような仕事をしてきましたか。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 若いころから同じ仕事をずっとやってきた | <input type="checkbox"/> (20) |
| 2. 同じ分野のなかでいくつかの仕事をしてきた | |
| 3. いくつかの分野にまたがり仕事をしてきた | |
| 4. 様々な分野で、様々な仕事をしてきた | |

Q5 あなたの職場の性格について、あてはまる番号にすべて○をつけて下さい。 (21-40)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 長い経験が求められる仕事が多い職場 | 7. 残業が多い職場 |
| 2. 人によって業績に大きな差がつく職場 | 8. 時期による繁忙の差が大きい職場 |
| 3. 技術革新や商品の変化が激しい職場 | 9. コストや納期、品質などの管理が難しい職場 |
| 4. 高齢者が多い職場 | 10. 上司や同僚と情報の共有が必要な職場 |
| 5. 若い人が多い職場 | 11. チームワークが大切な職場 |
| 6. パートや派遣などの非正規労働者が多い職場 | 12. あてはまるものはない |

Q6 今まで培った職業能力について、今の仕事の中で、それが求められていますか。また、それらの能力に自信がありますか。以下のA～Iそれぞれについてあてはまる番号にそれぞれ○をつけて下さい。

	求められており、自信がある	求められているが、自信はない	求められているが、自信がある	求められていないが、自信はない	求められていないが、自信がある
A. 特定分野における技術・技能・知識	1	2	3	4	
B. 若手の指導・育成能力	1	2	3	4	
C. 部門・職場単位の仕事を切り回す管理能力	1	2	3	4	
D. 社内における人的ネットワーク	1	2	3	4	
E. 社外との人的ネットワーク	1	2	3	4	
F. 体力・持久力	1	2	3	4	
G. パソコンやITを使いこなす能力	1	2	3	4	
H. 職務の変化に対応できる能力	1	2	3	4	
I. 長年の経験で培ったカンやコツ	1	2	3	4	

(45/50)

Q7 あなたは、現在の職場でいきいきと働けていますか。

1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない

Q8 あなたは、60歳以降も収入を伴う仕事（自営・農業は除く）に就きたいと思いませんか。60歳以降も仕事に就きたい方は、具体的に何歳くらいまでを考えていますか。

1. 59歳以前に卒めるつもり
 2. 60歳まで働いて、引退したい
 3. 60歳以降も働く・61歳まで
 4. " " " " 62歳まで
 5. " " " " 63歳まで
 6. " " " " 64歳まで
 7. 60歳以降も働く・65歳まで
 8. " " " " 66～69歳まで
 9. " " " " 70歳まで
 10. " " " " 71歳以上
 11. " " " " 年齢は考えていない

※以下の設問は、60歳以上ですのに働いている方、60歳以降も働くつもりのある方に、おうかがいします。なお、Q8で1、2と回答した方は、Q14へお進み下さい。

Q9 あなたが60歳以降も働こう(働きたい)と思った理由は何か。以下の中から、あてはまるものに順位をつけて3つ選んで下さい。

- | | | |
|-----------------------------------|-----|---------|
| 1. 働かなければ家計が成り立たないから | 第1位 | (7-78) |
| 2. 住宅ローンや家賃・リフォームなど住宅関係費の負担が大きいから | 第2位 | (9-46) |
| 3. 教育費、結婚費用など子どもに関する支出の負担が大きいから | 第3位 | (61-62) |
| 4. 家族の医療・介護費用の負担が大きいから | | |
| 5. 公的年金が少ないから（支給されないから） | | |
| 6. 生活に経済的なゆとりを求めたせないから | | |
| 7. 働くことが生きがいだから | | |
| 8. 今の職場の居心地が良いから | | |
| 9. 働くことで社会に貢献したいから | | |
| 10. 健康維持のため | | |
| 11. 経験や能力を活かしたいから | | |
| 12. 時間が余ると思うから | | |
| 13. その他 | | |

Q10 あなたの60歳以降の働き方に関する希望についてうかがいます。すでに60歳以上の方は、定年時に考えていた希望についてお答え下さい。

A. あなたの希望する雇用先はどこですか（どこでしたか）。

1. 定年時と同じ会社 (団体)
 2. 企業グループ内の別の会社 (団体)
 3. 企業グループ以外の会社 (団体)
 4. その他 (新規事業の起業など)
 5. 会社にはこだわらない (こだわらなかった)

B. (Aで1、2の方に)あなたの希望する職場は以下のどれですか（どれでしたか）。

1. 定年時と同じ職場
2. 定年時とは別の職場
3. 職場にはこだわらない（こだわらなかった）

C. あなたの希望する仕事は以下のどれですか（どれでしたか）。

1. 定年時と同じような仕事
 2. 定年時とは異なるが、知識・経験が活かせる仕事
 3. 定年時には全く違う新しい仕事
 4. 仕事にはこだわらない（こだわらなかつた）

D. あなたの希望する働き方はどれですか（どれでしたか）。

1. 毎日フルタイムで働く
2. 週2〜3日程度、フルタイムで働く
3. 短い就労時間/毎日働く
4. 週2〜3日程度、短い就労時間で働く
5. その他
6. 働き方にはこだわらない（こだわらなかった）

Ⅲ. あなたの希望する1カ月の賃金収入（高年齢者雇用継続給付金や在職老齢年金、企業年金は除く）は定年時と比べてどのくらいですか（どのくらいですか）。また、1-9を選んだ方は、その希望額がいくらくらいであるか（であったか）についても、お答え下さい。

1. 同水準がそれ以上
2. 9割くらい
3. 8割くらい
4. 7割くらい
5. 6割くらい
6. 5割くらい
7. 4割くらい
8. 3割くらい
9. 3割未満
10. 金額にはこだわらない
(こだわらなかつた)
- (67-68) (69-70)
- 希望額
-
- 万円くらい

Q11 あなたは、今の会社や団体（企業グループ内を含む）で公的年金の満額支給開始年齢まで働くことができると思いますか。

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 働けると思う | 2. 働けないと思う | 3. わからない |
| (71) | | |

Q12 (Q11で2、3の方に)今の会社や団体で公的年金の満額支給開始年齢まで働ける見通しをもてないのはなぜですか。あてはまるものに順位をつけて3つ選んで下さい。

- | | (75-76) | (76-77) |
|-----|---|---------|
| 第1位 | 7. 職場の人間関係から | |
| 第2位 | 8. 介護、転居などの家庭の事情から
9. 賃金、労働条件が合わないから | |
| 第3位 | 10. 会社、職場の先行きの不透明感から
11. その他 | |

Q13 あなたが自分の 60 歳以降の働きぶりについて大切にしたいと思うこと（大切にしていること）はなんですか。あてはまる番号にすべて○をつけて下さい。(79-84)

- 1. 仕事へのモチベーションを高く保つ
- 2. 後輩の相談相手になったり、自分の知識・経験を伝授する
- 3. たえず新しい知識を身につける
- 4. 若い人にうまく溶け込む
- 5. かつての部下に気を遣わせない
- 6. 体力的に無理なことをしない
- 7. とくにない

※以下の設問からは、再度全員におうかがいます。

Q14 あなたが 60 歳以降も働くと考えた場合、以下の各項目をどの程度重要だと思えますか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけて下さい。また、すでに 60 歳以上の人については、それぞれの項目についての満足度もあわせてお答え下さい。

	重要度			満足度 (60 歳以上の方)		
	とても重要	ある程度重要	あまり重要でない	かなり満足	やや満足	やや不満足
A. 定年前の経験や能力が活かせること	1	2	3	4	1	2
B. 年金の満額支給開始年齢まで働けること	1	2	3	4	1	2
C. フルタイム・短日数・短時間など働き方が選べること	1	2	3	4	1	2
D. 残業が少ないこと	1	2	3	4	1	2
E. 深夜勤務がないこと	1	2	3	4	1	2
F. 転勤がないこと	1	2	3	4	1	2
G. 仕事の進め方・量を自分のペースで決められること	1	2	3	4	1	2
H. 仕事上の責任・権限があること	1	2	3	4	1	2
I. 仕事の体力的負担が少ないこと	1	2	3	4	1	2
J. 仕事の精神的負担が少ないこと	1	2	3	4	1	2
K. 賃金が生活に見合っていること	1	2	3	4	1	2
L. 賃金が仕事に見合っていること	1	2	3	4	1	2
M. 能力や成果に応じて処遇に差をつけること	1	2	3	4	1	2
N. 毎年、多少とも昇給があること	1	2	3	4	1	2
O. 職場に同年代の人がいること	1	2	3	4	1	2
P. 職場の雰囲気や人間関係がよいこと	1	2	3	4	1	2
Q. 高齢者の健康や安全について配慮すること	1	2	3	4	1	2
R. 教育訓練の機会があること	1	2	3	4	1	2
S. 会社や職場から必要とされていると思えること	1	2	3	4	1	2

(104-122)

Q15 公的年金の満額支給開始年齢が引き上げられる中で、あなたは、60 歳以降の雇用について、どのような形で対応することが望ましいと思いますか。

- 1. 早急に 65 歳定年制を実現すべき
- 2. 段階的に定年を引き上げ、最終的に 65 歳定年制にすべき
- 3. 定年年齢は 60 歳、その後は継続雇用制度（再雇用・再任用・勤務延長）で働くべき
- 4. 定年制を廃止すべき
- 5. わからない

(123)

Q16 あなたは、会社から行われた 60 歳以降の雇用形態や労働条件、仕事内容など働き方に関する説明やアドバイスについて、どのように受けとめていますか。

- 1. 会社（団体）からの説明やアドバイスは自分の考えに合致しており、納得できた
- 2. 会社（団体）からの説明やアドバイスは自分の考えとは違うところもあったが、話し合うなかで納得できるようになった
- 3. 会社（団体）からの説明やアドバイスは自分の考えと異なることが多く、話し合っても納得しきれない
- 4. 会社（団体）からの説明やアドバイスは受けていない

(124)

Q17 60 歳以降の生活設計について、A. あなたは実際に何歳くらいから考え始めましたか。また、B. 可能であるなら何歳くらいから考えることが必要だと思いますか。それぞれについてあてはまるものを選んで下さい。

- 1. 39 歳以前
- 2. 40 代前半
- 3. 40 代後半
- 4. 50 代前半
- 5. 50 代後半
- 6. とくに考える必要はない

(125)

(126)

【生活実態と意識】

Q18 あなたが 60 代前半のときの子どもの状況についてうかがいます。あてはまる番号にすべて○をつけて下さい。なお、50 代の方は、60 代前半のことを想定してお答え下さい。(127-129)

- 1. 就学中の子ともがいる
- 2. 学校卒業後、経済的援助が必要な子どもがいる
- 3. 学校卒業後、独立した子どもがいる
- 4. 子どもはいない
- 5. わからない

Q19 あなたが 60 代前半のときの親（配偶者の親も含む）の状況についてうかがいます。あてはまるものを 1 つ選んで番号を記入して下さい。なお、50 代の方は、60 代前半のことを想定してお答え下さい。

- 1. 介護を必要とする親がいる
- 2. 介護を必要とする親はいない
- 3. わからない

(130)

Q20 あなたが 60 代前半のときの住居の状況についてうかがいます。あてはまるものを 1 つ選んで番号を記入して下さい。なお、50 代の方は、60 代前半のことを想定してお答え下さい。

- 1. 住宅ローンが残っている
- 2. 老朽化してきており、大きな修繕やリフォームの必要がある
- 3. 賃貸住宅の家賃負担がある
- 4. とくに問題はない
- 5. わからない

(131)

Q21 現在のあなたの世帯の主な収入源はどれですか。あてはまる番号にすべて○をつけて下さい。

- (152~155)
1. 本人の賃金収入
 2. 本人の公的年金 (厚生年金・共済年金など)
 3. 本人の高年齢雇用継続給付金
 4. 本人の企業年金
 5. 配偶者の正規雇用収入
 6. 配偶者のパート収入
 7. 配偶者の国民年金
 8. 配偶者の公的年金 (厚生年金・共済年金など)
 9. 配偶者の企業年金
 10. その他の家族の収入
 11. 個人年金
 12. その他

Q22 あなたの世帯の収入について、お答えください。3月に支給されたA：あなたの現込み賃金収入、およびB：あなたの在職高齢年金と高年齢雇用継続給付金の合計、C：A、B以外の収入、D：世帯全体の収入についてお答え下さい。なお、千円単位は四捨五入して下さい。

A：あなたの現込み賃金収入	万円 (156~158)
B：あなたの在職高齢年金＋高年齢雇用継続給付金	万円 (159~160)
C：A、B以外のあなたの世帯の収入	万円 (161~163)
D：世帯全体の収入	万円 (164~166)

※賃金以外の収入や世帯収入において、公的年金や在職高齢年金、企業年金など月額部分がまとめて支給されるものについては、1ヵ月換算して記入して下さい。

Q23 一時金(ボーナス)はありますか。あてはまる番号に○をつけ、「ある」場合はその年額もご回答下さい。

1. ある ☐ 年額 万円くらい (167, 168~170)
2. ない ☐

Q24 あなたの世帯の生活費について、お答えください。A：あなたの世帯の現在の平均的な1ヵ月あたりの生活費はおよそどのくらいですか。また、B：世帯全体で、60代前半に最低限必要な生活費は1ヵ月あたりどのくらいですか。

1. 15万円くらい
2. 20万円くらい
3. 25万円くらい
4. 30万円くらい
5. 35万円くらい
6. 40万円くらい
7. 45万円くらい
8. 50万円くらい
9. 55万円以上
- A：現在の平均的な1ヵ月あたりの生活費 (171)
- B：60代前半に最低限必要な生活費 (172)

Q25 あなたは、現在の暮らしがりにについてどのように感じていますか。

1. ゆとりがある
2. いくらかゆとりがある
3. ゆとりはないが、どうにかやりくりしている
4. 毎月のやりくりに追われている
5. 非常に苦しい
- (173)

Q26 あなたの世帯全体での貯蓄額(退職金や年金保険なども含む)は、およそどのくらいですか。

1. 250万円未満
2. 250~500万円未満
3. 500~1,000万円未満
4. 1,000~1,500万円未満
5. 1,500~2,000万円未満
6. 2,000~3,000万円未満
7. 3,000~4,000万円未満
8. 4,000~5,000万円未満
9. 5,000万円以上
- (174)

Q27 あなたの現在の健康状態はどうですか。

1. 健康である
2. たまに病気になるが、まあ健康である
3. 仕事を休むほどではないが、健康とはいえない
4. 病気がちで、仕事を休むことが多い
- (175)

Q28A 60歳以降の就労や生活に備えて、あなたが準備していた(準備しておきたい)ことがありますか。以下の中から、あてはまる番号にすべて○をつけて下さい。

1. 主体的に自分の仕事について考える
2. 専門能力を身につけたり、公的資格の取得
3. パソコンやITを使いこなせるようにする
4. 独立や開業に関する情報の収集
5. 財産形成や資産運用に関する情報の収集
6. 将来に備えた貯蓄をしておく
7. 自分なりの趣味を持つ
8. 近隣や地域社会との付き合いを増やす
9. 家族と話す機会を増やす
10. 介護について学ぶ
11. 健康管理や体力づくりに注意する
12. ボランティアや社会貢献活動への参加
13. その他 ()
14. とくにない

Q28B (60歳以上の方におうかがいます) 上記の中で、あなたが「もっとやっておけばよかった」と思うものを3つ以内で選んで下さい。なお、準備していたことと重なっても結構です。

(204~206)

Q29 今後の生活を考えて際に、あなたが不安や心配に思うことは何ですか。以下の中から、あてはまるものを5つ以内で選んで下さい。なお、1を選んだ方は、他の回答を選ばないで下さい。

1. 不安や心配を感じない
2. 年金支給開始年齢の引き上げ
3. 年金の支給額
4. 退職金の支給額
5. 住宅ローンなど借金
6. 病気などの不時に備えての貯蓄
7. 子どもの教育や就職、結婚
8. 親や親戚などの冠婚葬祭費用
9. 安定した住居の確保
10. 自分の希望する仕事が続けられるかどうか
11. 仕事内容にかかわらず今後も働き続けられるかどうか
12. 賃金の水準
13. 自分の健康 (入院費用を含む)
14. 家族の健康 (入院費用を含む)
15. 打ち込める趣味がもてないこと
16. 地域社会とのつながりがもてないこと
17. 子どもの関係
18. 夫婦関係
19. 生きがいや孤独感など精神面
20. その他
- (210~219)

Q30 あなたは日頃の生活の中で、次のA~Dについて充実していると感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけて下さい。

	かなり充実している	ある程度充実している	あまり充実していない	全く充実していない
A. 家族のかかわり	1	2	3	4
B. 自分の自由時間	1	2	3	4
C. 職場以外の友人・知人との付き合い	1	2	3	4
D. 地域のかかわり	1	2	3	4

(220~223)

Q31 あなたは現在、いきいきと生活していますか。

1. そう思う
2.どちらかといえばそう思う
3.どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

 (234)

【労働組合の取り組みについて】

Q32 あなたは以下の項目に対する労働組合の取り組みにどの程度満足していますか。あてはまる番号にそれぞれOをつけて下さい。

	かなり満足	やや満足	やや不満	かなり不満	わからない
A. 高齢者が働きやすい職場づくり	1	2	3	4	5
B. 高齢者の仕事や生活の相談にのること	1	2	3	4	5
C. 組合が行う高齢者対象のセミナー等	1	2	3	4	5
D. 高齢者雇用制度の充実	1	2	3	4	5

(235-238)

Q33 あなたは高齢者に対する労働組合の活動にどのような期待をしていますか。あてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

1. 組合主催の高齢者対象セミナーの開催・充実
2. 労働条件改善などの取り組み
3. 高齢者向けの福利厚生の実施
4. 定年延長や継続雇用制度の充実など雇用確保の取り組み
5. 高齢者が働きやすい職場づくり
6. 高齢者を対象とした苦情処理活動
7. 年金、ローン、引退などの生活設計への相談
8. 退職者の会などの設立・充実
9. 継続雇用者（再任用者）の労働組合への加入促進
10. その他

 (239-241)

※以下の設問は、60歳以上の方におうかがいます。

Q34 現在の働き方や定年時の状況についてうかがいます。

A. 身分は何ですか。

1. 正社員
2. 有期契約社員・月給
3. 有期契約社員・日給、時給
4. その他

 (236)

B. 雇用先はどこですか。

1. 定年時と同じ会社（団体）
2. 企業グループ内の別の会社（団体）
3. 企業グループ以外の会社（団体）

 (236)

C. (Bで1、2の方に) 職場は以下のどれですか。

1. 定年時と同じ職場
2. 同じ事業所だが別の職場
3. 同じ事業所でない別の職場

 (237)

D. あなたの仕事は以下のどれですか。

1. 定年時と同じような仕事
2. 定年時とは異なるが、知識・経験が活かせる仕事
3. 定年時とは全く違う新しい仕事

 (238)

E. あなたの働き方は以下のどれですか。

1. 毎日フルタイムで働いており、残業もしている
2. 毎日フルタイムで働いており、残業はほとんどしていない
3. 週2～3日程度、フルタイムで働いている
4. 短い就労時間で毎日働いている
5. 週2～3日程度、短い就労時間で働いている
6. その他

 (239)

F. 定年時の勤務形態

1. 常勤・定時勤務
2. 常勤・フレックス勤務
3. 交替勤務・夜勤あり
4. 交替勤務・夜勤なし
5. 数量労働制
6. 事業場外みなし
7. その他

 (240)

G. あなたの1カ月の賃金収入（高年齢者雇用継続給付金や在職老齢年金、企業年金は除く）は定年時と比べてどのくらいですか。

1. 同水準かそれ以上
2. 9割くらい
3. 8割くらい
4. 7割くらい
5. 6割くらい
6. 5割くらい
7. 4割くらい
8. 3割くらい
9. 3割未満

 (241)

H. 定年時の組合員籍の有無

1. 組合員であった
2. 組合員でなかった

 (242)

Q35 あなたは、会社からどのような役割を望まれていると思いますか。最も望まれていると思われるものを1つだけ選んで下さい。

1. 部下のいる職場のリーダー
2. 部下はいなくても、高度な知識・技術を生かす専門職
3. 現役と同様に働く、職場の主たる戦力
4. 年長者としての経験に裏打ちされた若年層の指導・育成係
5. 職場の手助けなどを目的としたサポート役
6. わからない

 (243)

Q36 あなたの直属の上司は、どのような人ですか。

1. 定年時と同じ人
2. 定年時に部下だった人
3. 直接の部下ではないが面識のある後輩
4. 定年時にはあまり関係のなかった人

 (244)

Q37 定年前と比べた職場生活の満足度についてうかがいます。以下の項目について、定年前と比べた満足度はどうですか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけて下さい。

	定年前と比べた満足度				
	かなり高く なった	やや高く なった	定年前と変 わらない	やや低くな った	かなり低く なった
A. 総合的に	1	2	3	4	5
B. 賃 金	1	2	3	4	5
C. 労働時間	1	2	3	4	5
D. 仕事内容	1	2	3	4	5
E. 職場の人間関係	1	2	3	4	5
F. 職場の作業環境	1	2	3	4	5

(248-250)

【自由記入意見欄】 労働組合に対するご意見・ご要望などあれば、ご自由にお書き下さい。

ご協力、ありがとうございました。